



【津地域】
具体的対応方針について

津区域の具体的対応方針（令和7(2025)年度） ・ 病床機能の現状

- 各医療機関における具体的対応方針については、国の通知を受けて、あらためて令和6年度末に適宜見直しいただき、各構想区域において取りまとめたところ。
- 令和6年度の病床機能報告や令和7年度のアンケートをもとに、変更した点を中心に、今回あらためて地域の課題もふまえ、具体的対応方針を確認・協議いただく。

医療機関名	担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数						計
		高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	
		上段：令和7(2025)年7月1日時点の病床数【定量的基準適用後】 下段：令和8(2026)年に向けた病床数						
三重大学医学部附属病院	全県的な高度急性期・急性期医療や政策医療全般に関する中心的な役割を担うとともに、大学病院として県内の医療人材の育成に関する役割を担う。	273	382					655
		273	382					655
三重中央医療センター	津構想区域における急性期機能や救急医療の中心的な役割を担うとともに、総合母子周産期医療センターとして県内の周産期医療の中核医療機関としての役割を担う。また、新興感染症に対しても重点医療機関として役割をはたしていく。	132	287					419
		132	287					419
三重病院	小児医療中核病院として、構想区域を越えた広域的な医療を提供するとともに、難病医療・重症心身障害児者に対する拠点施設としての役割を担う。（今後の重心患者の高齢化を見据え三重県における移行期医療体制に貢献していく。）			108		80	[70]	188
				108		80		188
一志病院	美杉・白山地域唯一の病院として、一般医療を提供するとともに、総合診療医を始めとするプライマリ・ケアを実践することができる人材の育成機関としての役割を担う。			46				46
								46
子ども心身発達医療センター	三重県における障がいや発達に課題のある子どもの専門医療・福祉機関として、小児の医療提供体制・療育体制の充実を図るとともに、子どものこころとからだの発達支援の拠点としての役割を担う。			[30]				0
								0
遠山病院	今後も引き続き、急性期、救急医療を継続するとともに、超高齢化社会を迎えるに当たり、地域包括ケア病棟を再開し、地域包括ケアシステムの円滑な運営ができるよう在宅医療や介護施設等とも連携し地域住民の方が安心して生活できる環境を整備する。		137	43				180
			111	49				160
永井病院	内科・循環器、外科・消化器、整形外科を中心とした地域における二次救急を主とする急性期医療の提供や、高度急性期病院の後方機能を担うほか、中勢地域で不足傾向にある回復期機能の充実を図る。	91	37		56	15		199
		91	37					199

津区域の具体的対応方針（令和7(2025)年度） ・ 病床機能の現状

医療機関名	担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数						
		高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計
		上段：令和7(2025)年7月1日時点の病床数【定量的基準適用後】						
下段：令和8(2026)年に向けた病床数								
武内病院	特定医療法人樟純会として、武内病院は急性期・回復期、榊原温泉病院は慢性期として機能分離し、特化する。		132		48			180
								180
榊原温泉病院	109床の医療療養病床、地域包括ケア病床及び透析センターを有し、急性期医療機関の後方支援病院として、地域医療の受け皿を担う。		33	16		109	41	199
			33	16		109	41	199
七葉記念病院	引き続き、津区域に根ざした回復期のリハビリテーション、緩和ケアを担う。			48	150	20		218
				48	150	20		218
大門病院	外科系病院として、引き続き二次救急医療を担うとともに、回復期病床及び急性期病床の一部を転換した地域包括ケア病床(管理料)により、地域で不足する回復期機能の充実を図る			55	27	24		106
								106
榊原白鳳病院	トリアージ的役割を担うとともに、高度急性期・急性期病院から、回復期・慢性期及び療養を目的とした患者を受入れ、在宅医療及び在宅ケアへとつなげる役割を果たす。			48		151		199
								199
津生協病院	高齢者を中心とした地域の軽中度の急性期や、在宅患者の急性増悪等の一次・二次救急医療に対応した入院医療を担うとともに、サブアキュート・ポストアキュートなど、在宅療養支援と在宅復帰支援のハブ機能、在宅復帰が困難な患者層のターミナルケア・看取りの機能を担う。		40	80				120
								120
岩崎病院	急性期病院、二次救急輪番病院としての役割とともに、後方支援病院として、他施設からの早期退院患者の在宅や介護施設への受け渡しを担う。		39	13				52
			39	13				52
若葉病院	救急医療を中心とし、急性期病棟での治療後に、回復期リハビリテーション病棟でリハビリテーションを行い、在宅への復帰を促進するほか、療養病棟にて長期療養者を受け入れる役割を担う。	50			45	35		130
								130
吉田クリニック	二次救急輪番病院として、津市全域の二次救急患者受入体制の一端を担うとともに、主として津市北部地域の救急患者の受入と在宅患者の応急受入等を担い、地域密着型医療を提供する。			35		45		80
								80
第二岩崎病院	回復期リハビリテーション病床を配備し、スムーズな在宅復帰への橋渡しを行うことや、医療療養病床を配備することで最新の看取りを行うことにより地域医療の後方支援としての役割を果たす。				36	28		64
								64
倉本内科病院	地域の介護事業所・介護施設と連携し、在宅から終末期まで途切れのない医療を提供するため、引き続き慢性期機能を担う。					23		23
								23
ひさい内科病院	慢性期もしくは終末期でありながら医療継続の必要な方が入院療養する機能を担う。					32		32
								32

津区域の具体的対応方針（令和7(2025)年度） ・ 病床機能の現状

医療機関名	担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数						
		高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計
		上段：令和7(2025)年7月1日時点の病床数【定量的基準適用後】 下段：令和8(2026)年に向けた病床数						
ヤナセクリニック	専門医療を担って病院の役割を補完する機能、緊急時に対応する機能			19				19
								19
東海眼科	病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、専門医療を担って病院の役割を補完する機能、緊急時に対応する機能			19				19
								19
ゆり形成内科整形	病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、緊急時に対応する機能			19				19
								19
セントローズクリニック	専門医療を担って病院の役割を補完する機能			19				19
								19
イタミ内科・整形外科							4	4
								4

津地域の具体的対応方針（令和7(2025)年度） ・ 病床機能の現状

津地域	医療機能ごとの病床数						
	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計
令和7(2025)年7月1日時点の病床数【定量的基準後】 A	546	1087	568	362	562	45	3170
令和8年(2026)年に向けた病床数【定量的基準後】 B	546	1061	574	362	562	45	3150
			936				
将来(2030年)の病床数の必要量 C	311	938		908	758		2915
B-C	235	123	28		-196		235